

# 銚子ジオパーク市民の会 ニュース



屏風ヶ浦(銚子)

第131号

2024年11月14日発行

発行責任 工藤 忠男

銚子ジオパーク市民の会

URL : <https://choshigeopark.com>



**報告**  
**第14回日本ジオパーク全国大会**  
**下北大会に参加して**  
小玉 健次郎

下北ジオパークで8月30日〜9月1日に開催された第14回日本ジオパーク全国大会に参加しました。

下北半島は青森県下北半島にあるむつ市(人口約9,000人)他1町3村により構成され、恐山、仏ヶ浦、大間崎、尻屋崎等、魅力的な場所がたくさんあります。

主会場であるむつ市の下北文化会館(開会式ほか)、むつマエダアリーナ(大交流会)、しもきた克雪ドーム(シンポジウム、展示発表、口頭発表、飲食・特産品売)などの豪華な設備と、参加したジオパーク関係者、小中高生、一般の人の数の多さと熱気に圧倒されました。

下北半島は津軽海峡、太平洋、陸奥湾に囲まれ、斧のよな形をした本州最北端の地域ですが、北東端の尻屋崎にある尻屋崎灯台は、マゼブラ

**分科会に参加して**  
房州 文字

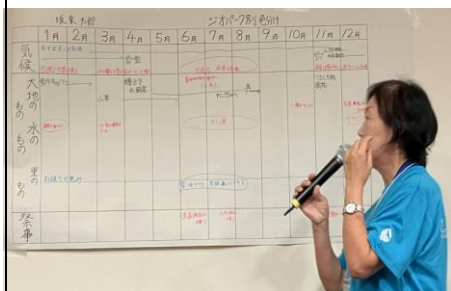
大会三日目の九月一日、「ジオパーク」をキーワードに教育、経済、環境、社会など様々な分野について、十四の分科会が開催されました。

私と内匠さんは、『大地と自然と人をつなぐフェノロジーカレンダー』という分科会に参加しました。磐梯山ジオパーク協議会が企画・進行を担当しました。

フェノロジーカレンダーとは聞きなれない言葉ですが、地域の自然と人の営みを表した生活季節暦です。地域の多様な「お宝」や暮らし



灯台内部のレンガ二重構造



フェノロジーカレンダーを前に

大会三日目の九月一日、「ジオパーク」をキーワードに教育、経済、環境、社会など様々な分野について、十四の分科会が開催されました。

私と内匠さんは、『大地と自然と人をつなぐフェノロジーカレンダー』という分科会に参加しました。磐梯山ジオパーク協議会が企画・進行を担当しました。

フェノロジーカレンダーとは聞きなれない言葉ですが、地域の自然と人の営みを表した生活季節暦です。地域の多様な「お宝」や暮らし

当初は前日の予定であったが、あいにくの天候で中止となり、幸いにも翌日参加することができた。当日は前日と打って変わって晴天となり、波もなく穏やかな湾内クルーズを体験できた。当日は大会会場脇の岸壁

しがジオパークとつながり、「ジオストーリー」として感じられる手段や方法の改善を課題として、グループワーク方式で行なわれました。実際に曆に記入して見て、ジオストーリーを可視化するのには有効な手法だと思いました。

**海上自衛隊大湊地方  
隊自衛艦艇見学と  
曳船湾内クルーズに  
参加して**  
田中 豊

で「水中処分母船一号」の艦内見学後、曳船に乗船し大湊地方の艦船基地である芦崎湾内をクルーズ。水中処分母船は機雷等の海上危険物の捜索や処分を支援する船で、水中作業時に使用する機材等の説明や艦内の説明を受けた。

湾内クルーズでは前日午前中のエクスカッションツアーで歩いた海上自衛隊基地内の芦崎浜を海上から見学でき、陸上からの景色とはまた別の感慨があった。

この乗船体験には全国大会参加者の他に地元の人もかなり参加乗船しており、陸奥湾の帆立漁獲量が大幅に減少し、地元民の口に入ることも減っているとの現状等も聞くことができるなど、下北の人々と交流することができるので有意義で貴重な体験であった。

